後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	5	持続可能なまちづくり	担当部	総務企画部
基本施策	1	総合的なまちづくりの推進		
単位施策名称	1	戦略的なまちづくりの推進		
施策の方向性	●長期的なまちづくりの方向性である総合計画に沿ったまちづくりを行うため、目的を明確にし、目標を定め、社会情勢や住民ニーズに対応した適切かつ効果的な施策を推進します。			

２．施策目標（施策指標）　※計画策定時の現状値と整合させるため、算出方法を訂正（令和7年3月）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	全単位施策指標の目標達成率	%	目標値		68.0	76.0	84.0	92.0	100
			実績値	51.5	63.9	67.2	68.1	75.5	77.2
			達成状況		未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、目標値を下回る結果となり、芳しくない状況です。
R4	新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、依然目標値と乖離が生じた結果となりました。
R5	新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、依然目標値と乖離が生じた結果となりました。
R6	新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響による進捗の遅れもあり、依然目標値を下回っていますが、昨年度と比較して約8ポイントの増であり、単年度の進捗目標を達成しています。
R7	人口減少や物価高騰等の社会経済情勢の変化により、目標値は未達成であったものの、「住んでよかった、住んでみたいまちづくり」へ向け、総合計画に沿ったまちづくりを遂行できたものと考えます。

・評価及び対応方針

R3	
R4	即効性のある改善策を講じることは困難ですが、引き続き「商工住のバランスを保ち、次世代へ元気をつなげるひととまち」という理念に沿った地道なまちづくりを行うことが、最大の打開策であると考えます。
R5	
R6	新型コロナウイルス感染症の直接的な影響による停滞からは概ね脱したものと判断しています。 今後は引き続き物価高騰等の影響を見据えながら、最終年度に向けて着実に計画を推進します。
R7	人口減少や物価高騰など、社会経済情勢の変化に伴い目標値未達成の要因を特定することは困難であると考えています。5年間の施策を通じて得られた成果や課題を踏まえ、『府中町第5次総合計画』を策定しました。『みんなの「暮らしたい」がかなうまち　あきふちゅう』の実現に向けて総合計画を推進します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　（単位:千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	総合計画推進事業	562	28	201	121	27,621	28,533
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		562	28	201	121	27,621	28,533

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	総合計画推進事業	事業番号	511101
担当部署名	総務企画部　　政策企画課		
政策体系			
基本目標	5 持続可能なまちづくり		
基本施策	1 総合的なまちづくりの推進		
単位施策	1 戦略的なまちづくりの推進		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 令和3年度事業の計画策定を行いました。また、前期期間を対象に実施した政策評価の補完として、令和2年度事業の事務事業評価及び前期実施計画の施策評価・事務事業評価を実施しました。 ○ まち・ひと・しごと創生有識者会議委員の改選を行うとともに、会議を開催し、第2期となる新たな計画について意見交換を行いました。
R4	○ 外部有識者による行政評価の導入に向け、導入自治体の事例研究を行うとともに、県内市町の行政評価の実施状況のヒアリングを行いました。 ○ 国が令和6年度までの地方創生の基本的方向を定めた「第2期府中町まち・ひと・しごと総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を令和4年12月に策定することから、町の総合戦略の改訂プロセスを検討するため有識者会議の開催を延期しました。
R5	○ 外部有識者による行政評価の導入に向け、導入自治体の事例研究を行うとともに、県内市町の行政評価の実施状況のヒアリングを行いました。 ○ 国が令和6年度までの地方創生の基本的方向を定めた「第2期府中町まち・ひと・しごと総合戦略」を抜本的に改訂し、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を令和4年12月に策定することから、令和4年度より引き続き町の総合戦略の改訂プロセスを検討するため有識者会議の開催を延期しました。
R6	○ 「府中町第5次総合計画」の策定に向け、アンケート調査（住民・事業者・中学生）を実施しました。 ○ 総合計画策定条例を制定し、総合計画の基本構想を議決事項としたほか、総合計画策定審議会を開催しました。 ○ まち・ひと・しごと創生有識者会議を書面開催し、「第2期府中町まち・ひと・しごと総合戦略」におけるこれまでの取り組みについて意見聴取を行いました。
R7	○ 「府中町第5次総合計画」及び「府中町都市再生整備計画基本構想」を策定しました。 ○ 国が示す地方創生の基本方針が「府中町第5次総合計画」の基本構想と一致するため、「第3期府中町まち・ひち・しごと創生総合戦略」を同計画に包含し、策定しました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	全事務事業指標の目標達成率	%	目標値	68.0	76.0	84.0	92.0	100.0
			実績値	65.4	71.9	79.2	86.3	93.3
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	総合計画の進行管理が目的のため、各事務事業評価指標の目標達成率を指標としました。※当該事業の趣旨を鑑み、指標の算出方法を変更（令和7年3月）							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	562	0	0	0	1	561
R4	28	0	0	0	0	28
R5	201	0	0	0	0	201
R6	121	0	0	0	0	121
R7	27,621	0	0	0	0	27,621
合計	28,533	0	0	0	1	28,532

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	事務事業76指標のうち、目標値を達成したのは37指標でした。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業も複数ありますが、未達成の要因は様々です。
R4	事務事業75指標のうち、目標値を達成したのは39指標でした。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業も複数ありますが、未達成の要因は様々です。
R5	事務事業76指標のうち、目標値を達成したのは42指標でした。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業も複数ありますが、未達成の要因は様々です。
R6	事務事業81指標のうち、目標値を達成したのは45指標でした。未達成の要因は様々ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた利用者数・参加者数などは全体的に回復傾向にあります。
R7	事務事業84指標のうち、目標値を達成したのは53指標でした。未達成の要因は様々ですが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業が複数存在します。

・評価及び対応方針

R3	新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標は未達成となりましたが、引き続き、「住んでよかった、住んでみたいまちづくり」へ向け、事業を継続します。
R4	新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標は未達成となりましたが、引き続き、「住んでよかった、住んでみたいまちづくり」へ向け、事業を継続します。
R5	目標は未達成となりましたが、引き続き、「住んでよかった、住んでみたいまちづくり」へ向け、事業を継続します。
R6	目標は未達成となりましたが、引き続き、「住んでよかった、住んでみたいまちづくり」へ向け、事業を継続します。
R7	目標は未達成となりましたが、「住んでよかった、住んでみたいまちづくり」へ向け、継続的に事業を実行することができました。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	前期期間中1度も「達成」に至らなかった中、その成果と課題を踏まえ後期をスタートさせましたが、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、依然目標値と乖離が生じた結果となりました。
R4	新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、依然目標値と乖離が生じた結果となりました。
R5	依然として目標値と乖離が生じた結果となりました。
R6	新型コロナウイルス感染症等の影響を大きく受けた令和3年度、令和4年度に比べ、令和5年度と令和6年度は目標としていた進捗状況に近づきつつあります。
R7	令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、目標としていた進捗状況に達することが困難でした。その後、令和5年度及び令和6年度にかけて感染症の影響による停滞から徐々に回復しつつあるものの、物価高騰等による社会情勢の影響も加わり、計画最終年度においても目標値とは乖離する結果となりました。

・評価及び対応方針

R3	即効性のある改善策を講じることは困難ですが、引き続き後期実施計画に実直に取り組むことで、指標の上昇を図りたいと考えます。
R4	即効性のある改善策を講じることは困難ですが、引き続き後期実施計画に実直に取り組むことで、指標の上昇を図りたいと考えます。
R5	即効性のある改善策を講じることは困難ですが、引き続き後期実施計画に実直に取り組むことで、指標の上昇を図りたいと考えます。
R6	過年度の達成状況から目標値の達成は困難ですが、計画最終年度に向けて、各事業の確実な進捗が図られるよう、引き続き後期実施計画に取り組みます。
R7	5年連続目標値未達成となりましたが、要因は様々であり、一概には特定できないと考えています。5年間の施策を通じて得られた成果や課題を踏まえ、「府中町第5次総合計画」の策定を行いました。「みんなの『暮らしたい』がかなうまち　あきふちゅう」の実現に向け、総合計画を推進します。